

大竹市では、JR大竹駅を大竹市の玄関口として便利で魅力的な駅前広場にするため、検討を進めています。このニュースレターでは、大竹市民を中心として構成された「大竹駅西口交流広場の活用方針策定ワークショップ」における検討の状況や結果についてお伝えします。

ワークショップの概要

大竹駅西口広場の整備の課題の1つに「市民や訪問者が集えるような広場や空間がない」ことが挙げられています。

そのため、市民と行政が一緒になって交流広場の活用方針を決め、整備が進めていけるように、「こんな利用ができればいいな」や「こんなイベントができると賑わいが生まれそう」、「あんなふうを集えたらいいな」など交流広場の活用について話し合うワークショップを開催しております。

10/27実施
20名参加

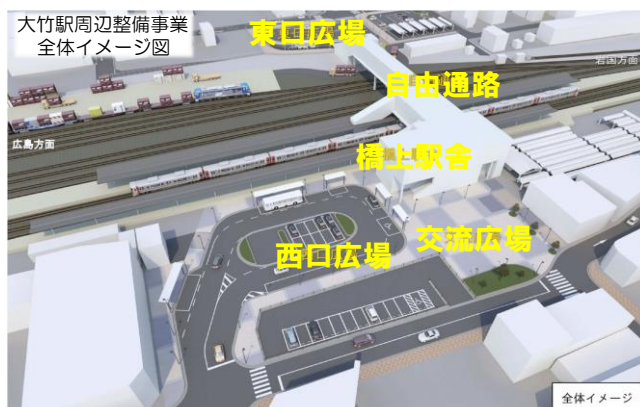
第1回 WS 【テーマ】こんな交流広場が欲しい！
【実施内容】交流広場の利活用に対する意見交換

第2回 WS 【テーマ】もっとこうしたい！
【実施内容】活用素案（4案）に対する意見交換

第3回 WS 【テーマ】活用方針を評価しよう！
【実施内容】活用方針案に対する意見交換、評価、方向性の提示

▲ワークショップの流れ

今回実施
23名参加



▲大竹駅の全体整備イメージ

第1回ワークショップのおさらい

第1回ワークショップ（令和元年10月27日）では、「こんな交流広場が欲しい！」をテーマにテーブルワークを行いました。主な意見は以下の通りです。

主な意見

- ・みんなが利用できる休憩スペースとして活用したいので、椅子やベンチが欲しい！
- ・夜でも明るい駅したいので、行灯やキャンドルなどで照明の工夫をして欲しい！
- ・動植物を観察したいので、緑をふやして欲しい！
- ・地域コミュニティの発表場に活用したいので、ステージ・舞台が欲しい！
- ・イベント（マルシェ、バザー）に活用したいので、水道・電気の設備を整備して欲しい！
- ・大竹市のPRに活用したいので、“大竹市の顔”になるものが欲しい！
- ・防災情報を知りたいので、掲示板などで防災情報を発信して欲しい！
- ・みんなが安心して利用したいので、歩行者の安全を確保して欲しい！

第2回ワークショップの様子

第2回ワークショップ（令和元年12月15日）では、第1回ワークショップ（令和元年10月27日）の意見を踏まえて作成した活用素案について

「**もっとこうしたい!**」をテーマにテーブルワークを行いました!!

Aグループ



- 様々なイベントに対応できるように、中央を広い空間にしたい!
- 大竹市をアピールできるモニュメントを設置したい!
- 曲線を使った柔らかいデザインにしたい!

Bグループ



- 交流広場全体に木や花を植えたい!
- 子供たちの学習の場として活用したい!
- 朝市などのイベントを定期的で開催したい!

Cグループ



- フリマ、マルシェ、スポーツ、音楽等の各種イベントに利用したい!
- 各種イベントに対応できるように広いスペースを確保したい!

Dグループ



- イベント利用やコミュニティ発表に活用したいので、屋根付きのステージを設置したい!
- シンボルツリーを設置したい!
- 大竹の文化を発信するモニュメントを設置したい!

次回開催の予定

■第3回WS：活用方針を評価しよう!

- 日程：令和2年（2020年）2月2日(日) 14時～16時
- 場所：総合市民会館3階 集会議室

